

学習指導要領の改訂に向けた動きなど
お役立ち Hot 情報をお届けするニュースレター

きょういく プレス



平成 28 (2016) 年 12 月 15 日

第 27 号

発行 株式会社ぎょうせい

(隔週木曜発行)

〒136-8575 東京都江東区新木場 1-18-11

フリーコール 0120-953-431

フリー FAX 0120-953-495

Web サイト <http://gyosei.jp>

e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

「ぎょうせい」は、学校教育に携わる皆様のため、
教育行政・学校学級経営・教科教育・授業づくりに
関する書籍をはじめ、様々なコンテンツをご提供し
ています。

中央教育審議会
教育課程部会
教育課程企画特別部会

学習指導要領改訂答申案まとまる 21日・中教審総会で答申へ

● 答申案大筋了承

12月6日に中央教育審議会の教育課程企画特別部会が、8日には教育課程部会が、文部科学省において相次いで開催され、学習指導要領の改訂に関する答申案が事務局より各委員に提示された。

答申案の名称は、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」。これは、8月の教育課程部会報告「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」を土台に、その後実施されたパブリックコメントや関係団体ヒアリング（第26号既報）での意見等を踏まえ、重複表現の整理や、「資質・能力の育成と、子供たちの発達や成長のつながり」を新たに項立てするなどの構成変更が行われたもの。

両部会では答申に向けての最終意見交換が行われ、若干の表現修正を求める意見も出たが大筋了承となり、以後の修正は主査（部会長）一任となった。

● PISA2015 調査結果

6日教育課程企画特別部会では、同日公表されたばかりの「OECD生徒の学習到達度調査（PISA2015）」の結果についても議題に上った。

文科省は今回の結果について「科学的リテラシー、読解力、数学的リテラシーの各分野において、日本は国際的に見ると引き続き平均得点が高いグループに位置している」と評価（科学的リテラシー：日本の平均得点538点、OECD加盟35か国中1位／読解力：516点、6位／数学的リテラシー：532点、1位）。調査対象の15歳児（高1）は、現行学習指導要領のもとで中学課程を終えた世代であることから、知識基盤社会を生き抜く力を子供たちに育むという目標に向けた近年の諸施策が成果を上げつつあるとし、その流れの延長線上にある今次改訂に自信を深める。

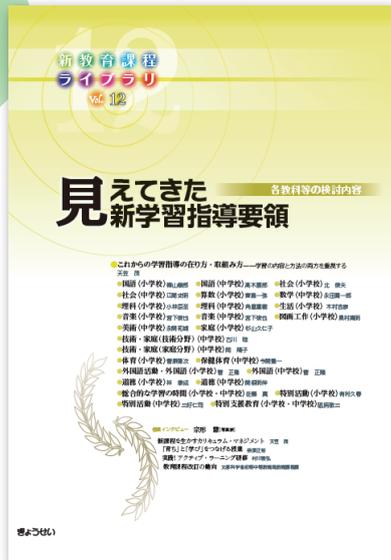
一方、読解力の平均点は有意に低下していることから、語彙力の強化や諸外国の国語授業におけるICT活用事例の収集・分析など「読解力の向上に向けた対応策」の推進を6日付けで文科省は表明。「読解力の向上に向けた対応策」は答申案にも反映されている。

今後は、教育課程部会の上位組織にあたる初等中等教育分科会の16日会合において答申案が検討された後、21日の総会において「答申」が行われる見込み。平成26年11月の中教審への諮問以来およそ2年にわたる改訂審議はここによいよ結実し、新指導要領を待つばかりとなる。

新教育課程ライブラリ

Vol.12 見えてきた新学習指導要領 —各教科等の検討内容

最新刊
Vol.12
12月20日刊
全12巻揃い踏み!



ぎょうせい編/A4判/巻定価(本体1,350円+税)/全12巻セット定価(本体16,200円+税)

■特集—見えてきた新学習指導要領—各教科等の検討内容

- これからの学習指導の在り方・取組み方—学習の内容と方法の両方を重視する 天笠 茂
- 国語〈小学校〉 樺山敏郎 ○国語〈中学校〉 高木展郎 ○社会〈小学校〉 北 俊夫
- 社会〈中学校〉 江間史明 ○算数〈小学校〉 齊藤一弥 ○数学〈中学校〉 永田潤一郎
- 理科〈小学校〉 小林辰至 ○理科〈中学校〉 角屋重樹 ○生活〈小学校〉 木村吉彦
- 音楽〈小学校〉 宮下俊也 ○音楽〈中学校〉 宮下俊也 ○図画工作〈小学校〉 奥村高明
- 美術〈中学校〉 永関和雄 ○家庭〈小学校〉 杉山久仁子 ○技術・家庭(技術分野)〈中学校〉 古川 稔
- 技術・家庭(家庭分野)〈中学校〉 岡 陽子 ○体育〈小学校〉 菅原健次 ○保健体育〈中学校〉 今関豊一
- 外国語活動・外国語〈小学校〉 菅 正隆 ○外国語〈中学校〉 菅 正隆 ○道徳〈小学校〉 林 泰成
- 道徳〈中学校〉 関根明伸 ○総合的な学習の時間〈小学校・中学校〉 佐藤 真
- 特別活動〈小学校〉 有村久春 ○特別活動〈中学校〉 三好仁司 ○特別支援教育〈小学校・中学校〉 砥柄敬三

平成29年1月
から
毎月中旬発行
ご予約受付中!

大好評の月刊シリーズ『新教育課程ライブラリ』
続刊ご要望にお応えして—
第2期刊行決定!



ぎょうせい編、A4判、表紙オールカラー、本文96頁(2色刷り16頁/1色刷り80頁)、横組
各巻定価(本体1,350円+税) 各巻送料215円
セット定価(本体16,200円+税) 送料サービス

新教育課程、いよいよ本格始動。 実行・実践の一年を徹底サポートします!

新しい学習指導要領を生かした学校づくり・授業づくりをどう進めるか?
日々の取組に役立つ具体的な情報や実践事例を毎月お届けします。

■特集テーマ(予定)

- Vol.1 (平成29年1月刊)
- Vol.2 (平成29年2月刊)
- Vol.3 (平成29年3月刊)
- Vol.4 (平成29年4月刊)
- Vol.5 (平成29年5月刊)
- Vol.6 (平成29年6月刊)
- Vol.7 (平成29年7月刊)
- Vol.8 (平成29年8月刊)
- Vol.9 (平成29年9月刊)
- Vol.10 (平成29年10月刊)
- Vol.11 (平成29年11月刊)
- Vol.12 (平成29年12月刊)

中教審答申を読む(1)—改訂の基本的方向

中教審答申を読む(2)—学校現場はどう変わるか

Vol.3 ~ Vol.12 で予定される特集テーマの例

- 「深い学び」を考える ●新学習指導要領の改訂ポイント ●総則からみるこれからの学校づくり・授業づくり ●三つの資質・能力から考えるこれからの学校経営 ●次世代を育てる学校・教師 ●新たな授業プロセスの開発と教材研究 ●新教育課程における保幼小連携 ●地域と創る教育課程 ●個に応じた指導と支援 ●完全実施に向けた論点整理と学校の対応課題 など

*各巻特集テーマ名は変更する場合がございます。

●「きょういくプレス」をご愛読いただき、ありがとうございます。平成27年10月の第1号発行以来、基本隔週で発行を続け、おかげさまで今号で第27号となりました。

●第1号のメイン記事は、「懸念される暴力の低年齢化。『いじめ』把握にも課題」。このほか、中教審3答申(教員の資質能力向上、チーム学校、学校と地域の連携・協働)に至る前段階の審議動向も紹介しています。

●以来今号まで、中教審各部会や教科別ワーキンググループの動き、折々のニュースをご紹介しますでしたが、表面記事のとおりに、今月下旬いよいよ答申が公表されることとなりました。次号(1月中旬発行)では答申関連情報などをお届け予定です。

●「きょういくプレス」無料メール配信サービスに登録いただきますと、バックナンバーもご覧いただくことができます。右QRコードから登録専用サイトにアクセスできますので、ぜひご登録ください。



●ご注文・お問い合わせ先
ぎょうせい
フリーコール 0120-953-431
フリーFAX 0120-953-495
Webサイト http://gyosei.jp
e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

◎取扱者